

第45回エネルギー・資源学会研究発表会 会場・時間・セッション名

8月4日(火)

A (7A)	B (7B)	C (7C)	D (7D)	E (6EF)
9:20~11:00 セッションA1 E V	9:20~11:00 セッションB1 供給側技術評価	9:20~11:00 セッションC1 <企画セッション> 家庭部門のCO <sub>2</sub> 排出 実態統計調査利用	9:20~11:00 セッションD1 再エネ・地域	9:20~11:00 セッションE1 バイオマス・廃棄物・ 熱
11:20~12:40 セッションA2 レジリエンス	11:20~12:40 セッションB2 水素	11:20~12:40 セッションC2 制度・政策	11:20~12:20 セッションD2 環境問題一般	11:20~13:00 セッションE2 <企画セッション> カーボンニュートラルなエ ネルギー需給に関するヨー ロッパ調査報告
12:20 ~ 14:00 昼食				

- \*14:00~14:25 表彰式 会場 10F 佐治敬三メモリアルホール1~4  
 \*14:45~16:55 特別講演会 会場 10F 佐治敬三メモリアルホール1~4  
 \*17:00~19:00 技術交流会 会場 9F 岸本忠三交流サロン「サロン・アゴラ」

8月5日(水)

A (7A)	B (7B)	C (7C)	D (7D)	E (6EF)
9:00~10:40 セッションA3 世界・家庭部門	9:00~10:40 セッションB3 電力システム評価(1)	9:00~10:40 セッションC3 <企画セッション> エリアエネルギーマネジメ ントシステム(SIPプログラ ム)(1)	9:00~10:20 セッションD3 <企画セッション> e-メタン・バイオガスの社 会実装を目指す都市ガス 業界の取組みプロジェクト 組成と国際標準ルール 形成(1)	9:00~10:20 セッションE3 再エネ・アンケート
11:00~12:40 セッションA4 電化・需要側対策評価	11:00~12:40 セッションB4 蓄電池	11:00~12:40 セッションC4 <企画セッション> エリアエネルギーマネジメ ントシステム(SIPプログラ ム)(2)	11:00~12:20 セッションD4 <企画セッション> e-メタン・バイオガスの社 会実装を目指す都市ガス 業界の取組みプロジェクト 組成と国際標準ルール 形成(2)	(ポスターセッション準備)
12:40 ~ 13:40 昼食				12:40~14:10 <若手の会> 第1部 ポスターセッション
14:10~16:10 セッションA5 DR・分散電源	14:10~16:10 セッションB5 需要統計・類型化・ 遮熱断熱	14:10~16:10 セッションC5 機械学習・システム 制御・最適化	14:10~16:10 セッションD5 電力システム評価(2)・ イノベーション	14:10~15:30 <若手の会> 第2部 グループディスカッ ション

## 第45回エネルギー・資源学会研究発表会プログラム

〔日時〕 2026年8月4日(火) 9:20~12:40

8月5日(水) 9:00~16:10

〔場所〕 大阪大学 中之島センター

A (7A), B (7B), C (7C), D (7D), E (6EF)

(注)・発表時間 1 題目20分 (講演15分, 討論 5分)

・発表者より提出された原稿に基づき再度審査  
を行い, 採否の決定を見直す場合があります.

・○印は当日発表予定者, その他は共同研究者

### 8月4日(火)

9:00 受付開始

9:20~11:00 セッションA1 EV

会場: A (7A)

A1-1 都市交通と配電システムの連成シミュレーションを用いたEV充電に対する混雑税導入の評価

○楠木 心太, 内田 英明, 下田 吉之, 山口 容平, 芳澤 信哉 (大阪大学)

A1-2 EV-DERシステムの開発とオフィスビルにおけるデマンドレスポンス実証実験

○豊島 拓生, 高口 洋人 (早稲田大学)

A1-3 EVと分散型電源による都市業務エリアの面的マイクログリッド構築と事業性評価  
- 中央区を対象として -

○梶河 周真 (早稲田大学)

A1-4 A Living Lab Demonstration of EV Charging Management Using Machine-Learning Models to Predict User Demand

○木内 寛允, 鈴江 祥典, Aaron Kandel, Pettet Ava (Nissan North America, Inc.)

A1-5 協力ゲーム理論に基づく利得配分を考慮したEV職場充電における料金設定

○大野 隆輔, 浦田 淳司 (筑波大学), 王 英帥 (本田技術研究所)

9:20~11:00 セッションB1 供給側技術評価

会場: B (7B)

B1-1 高温ガス炉の社会実装に向けたシナリオ分析

○小野 正人, 石井 克典, 笠原 清司, 野口 弘喜 (日本原子力研究開発機構)

B1-2 データセンター廃熱と帯水層蓄熱技術を考慮した最適電源構成モデルの構築と評価

○谷口 尚紀 (東京大学)

B1-3 ウェイク効果を考慮した洋上風力発電ポテンシャル推計への予備的検討

○橋本 祐斗 (横浜国立大学), 大槻 貴司 (早稲田大学)

B1-4 A Comparative Feasibility and Capability Analysis of Carbon Dioxide Removal (CDR) Deployment in the UK and Japan: BECCS and DACCS

○Bian Yuan Allen, 杉山 昌広 (東京大学)

B1-5 Evaluation of Ammonia Co-Firing Strategies in Japan Using Robust Decision Making

○Eamon Krishna FRAZER, 杉山 昌広 (東京大学)

9:20~11:00 セッションC1 <企画セッション>家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査利用

会場: C (7C)

C1-1 2017~2023年度の家庭CO<sub>2</sub>統計個票データに基づく電気使用量の変化要因分析

○西尾 健一郎, 山田 愛花 (電力中央研究所)

C1-2 回答整合性に基づく潜在機器所有推定: 家庭CO<sub>2</sub>統計データにおける過小申告バイアスの補正手法

○田中 昭雄 (広島修道大学)

C1-3 高齢化や世帯規模縮小が住宅エネルギー消費へ与える影響

○田中 昭雄 (広島修道大学)

C1-4 ボトムアップ方式による家庭用エアコン暖房の大気熱利用量の推計手法に関する基礎検討

○高橋 雅仁, 上野 剛, 安岡 絢子, 永田 豊 (電力中央研究所)

- C1-5 Heterogeneous adoption of household GX technologies and PV subsidy effects in Japan  
 ○LONG YIN, HUANG LIQIAO, ZHOU ZIYI, CHEN FANRONG (東京大学),  
 WANG NAN (三菱UFJ銀行), 吉田 好邦 (東京大学)

9:20~11:00 **セッションD1** 再エネ・地域 会場：D (7D)

- D1-1 地産地消型P2P電力取引の有効性検証に向けた事業コスト及び余剰電力削減効果の分析  
 ○鈴木 大空斗, 磐田 朋子, 吉岡 剛 (芝浦工業大学)
- D1-2 カーボンクレジット制度による新しい循環経済の創出  
 ○鷺津 明由 (早稲田大学), 板 明果 (東北学院大学)
- D1-3 A Financial Feasibility Framework for Japan's Virtual Cross-Border Renewable Power Purchase Agreements via JCM partner countries  
 ○GAWANDE Gayatri Dinkar (京都大学)
- D1-4 地方公共団体における再生可能エネルギー導入と森林吸収量のトレードオフ  
 - 東北地方の市町村意向と社会経済データを用いた分析 -  
 ○重 浩一郎 (八戸工業高等専門学校), 坂巻 隆史 (東北大学)
- D1-5 地域脱炭素技術の社会実装と中間支援機能の役割  
 ○田口 裕史, 後藤 久典, 桑垣 玲子 (電力中央研究所)

9:20~11:00 **セッションE1** バイオマス・廃棄物・熱 会場：E (6EF)

- E1-1 FIP制度下における木質バイオマスCHPシステムの運転計画に関する研究  
 ○武村 大介, 磐田 朋子, 吉岡 剛 (芝浦工業大学)
- E1-2 Feed-in Premiumと施設栽培での自家消費を考慮した営農型太陽光発電システムにおける蓄電設備の活用  
 ○増田 理気, 前 匡鴻, 吉岡 剛, 松橋 隆治 (東京大学)
- E1-3 固体バイオ燃料によるエネルギー備蓄に関する工学的考察  
 ○井田 民男, 水野 諭 (近畿大学), 鈴木 隆 (近畿大学工業高等専門学校)
- E1-4 製菓工場における食品残渣及び廃熱を有効活用したエネルギーシステムの構築  
 ○横山 茂紀 (竹中工務店)
- E1-5 産業における全国レベルの廃棄物焼却熱利用ネットワーク構築LCCNにおける経済・エネルギーシナリオを反映させた多目的最適化  
 ○牧 誠也, 大西 悟, 藤井 実 (国立環境研究所)

11:20~12:40 **セッションA2** レジリエンス 会場：A (7A)

- A2-1 個人所有EVの融通による停電対策の可能性と課題 - 自家用車所有者の意向調査にもとづく分析 -  
 ○後藤 久典, 桑垣 玲子, 田口 裕史, 高橋 雅仁, 筒井 美樹 (電力中央研究所)
- A2-2 EVによるリソースと需要の動的な最適配置を目指した電力レジリエンスEMSの提案  
 ○飯野 穰, 林 泰弘 (早稲田大学)
- A2-3 病院における分散型電源の平常時活用を考慮した災害時エネルギーレジリエンス評価  
 ○太田 巽, 磐田 朋子, 吉岡 剛 (芝浦工業大学)
- A2-4 確率動的計画法による自立型脱炭素分散エネルギーシステムの災害レジリエンス評価  
 ○鈴木 梨那 (東京大学)

11:20~12:40 **セッションB2** 水素 会場：B (7B)

- B2-1 英国・欧州における天然ガスグリッドへの水素混合の取組みと日本への適用検討  
 ○杉本 一郎 (エネルギー・生活科学研究所), 石田 政義 (筑波大学), 毛笠 明志 (毛笠技術士事務所)
- B2-2 国際水素供給網を考慮した最適電源構成モデルによる脱炭素戦略に関する分析  
 ○加田 遼空, 小宮山 涼一, 藤井 康正 (東京大学)

B2-3 2050年の技術進展を考慮した、国際水素エネルギーキャリアサプライチェーンのコスト・炭素集約度分析  
 ○水野 有智, 前川 全, 石本 祐樹 (エネルギー総合工学研究所), 橋本 道雄,  
 杉山 正和 (東京大学)

B2-4 水素導入によるエネルギー輸入構造の変化と供給分散化効果の定量評価－HHIを用いた分析－  
 ○加藤 隆正, 宇根崎 博信 (京都大学)

11:20~12:40 **セッションC2** 制度・政策 会場：C (7C)

C2-1 気候変動に対する信念や態度の規定要因に関する文献調査  
 ○木村 宰 (電力中央研究所)

C2-2 脱炭素社会に向けた態度形成と政策手段選好：大学生アンケート調査によるS+3E分析  
 ○後藤 良介 (滋賀大学)

C2-3 不確実性下における意思決定プロセスの設計  
 －エネルギー転換と脱炭素スタートアップ投資における選択肢創出と時間設計－  
 ○上田 嘉紀 (脱炭素化支援機構)

C2-4 電力制度の現状と課題，展望：3Eのバランス  
 ○秋元 圭吾 (地球環境産業技術研究機構)

11:20~12:20 **セッションD2** 環境問題一般 会場：D (7D)

D2-1 日本における気候危機対策-2026年時点の具体策  
 ○外岡 豊 (埼玉大学)

D2-2 東日本大震災による福島県相双地域における大気質の変化  
 ○蛭田 真史 (福島県環境創造センター)

D2-3 愛媛県を対象とした太陽光パネル排出量の地域特性 (塩害) を考慮した予測モデルの検討  
 ○高木 寛人, 斎藤 淳一郎, 坂口 香帆, 齊藤 健吾, 山中 隆世,  
 池田 啓造 (パシフィックコンサルタンツ)

11:20~13:00 **セッションE2** <企画セッション> 会場：E (6E)

カーボンニュートラルなエネルギー需給に関するヨーロッパ調査報告等

1. ヨーロッパ調査報告 (80分, 質疑を含む)
  - ・ Climeworks
  - ・ ヘトリスヘイジ地熱発電+Carbfix
  - ・ EDF研究所
  - ・ PGL洋上風力
2. 全体討議 (15分)
  - ・ テーマ：日本の中山間部のエネルギー地産地消 ～アイスランドとの比較より～
3. 今後の活動予定 (5分)

会場 10F 佐治敬三メモリアルホール1～4

14:00~14:25 令和8年度表彰式  
 (第15回学会賞・第15回学会貢献賞・第22回論文賞・第14回茅賞・第14回学生発表賞)

14:45~16:55 特別講演会  
 「アメリカ保守政治と気候変動政策」  
 …同志社大学 神学部 神学科 准教授 木谷 佳楠氏

「海洋資源探査とレアアース」(仮題)  
 …国立研究開発法人 海洋研究開発機構 特任技術統括  
 内閣府 SIP 海洋安全保障プラットフォーム サブプログラムディレクター 東 垣氏  
 (司会) 秋元 圭吾 (エネルギー・資源学会 企画担当理事)

17:00~19:00 技術交流会 会場：9F 岸本忠三交流サロン「サロン・アゴラ」

8月5日(水)

8:45 受付開始

9:00~10:40 セッションA3 世界・家庭部門

会場：A (7A)

- A3-1 インドネシアの家庭部門エネルギー需要推計  
○木村 渉, 下田 吉之, 五味 勇心, 澤田 悠太 (大阪大学)
- A3-2 世界の家庭部門の電力ロードカーブに関するシミュレーションを用いた分析  
○五味 勇心, 下田 吉之, 澤田 悠太 (大阪大学)
- A3-3 Regulatory Barriers to Bankable PV+BESS Microgrids on Indonesia's Isolated Islands  
○IRLYVARA NANDINI (京都大学)
- A3-4 Can Second-Life Batteries Compete? A Techno-Economic and Life Cycle Assessment of Second-Life Stationary Energy Storage in Southeast Asia.  
○ALFRED CHEAM JIA JING, Benjamin Craig McLellan (京都大学)
- A3-5 日常生活の廃材で作った太陽熱調理器の加熱性能と環境負荷低減効果の検証  
○岸田 映里子, 寺島 幸生 (鳴門教育大学)

9:00~10:40 セッションB3 電力システム評価 (1)

会場：B (7B)

- B3-1 今後の環境・エネルギー政策における電気のエネルギー評価・CO<sub>2</sub>評価の在り方に関する考察  
○白木 一成 (EEPリサーチ)
- B3-2 エリア需給における太陽光の余剰・回収等を視覚化する図法の提案  
○石川 明 (大同大学)
- B3-3 最適化型電力システムモデルの設定条件に関する感度分析とシャドウプライスの評価  
- 日本を対象とした検討  
○高瀬 香絵, 木村 誠一郎, 中西 要祐, 斉藤 哲夫 (自然エネルギー財団)
- B3-4 アグリゲーション・VPPの技術開発の動向  
○荻本 和彦, 岩船 由美子, 今中 政輝 (東京大学)
- B3-5 均等化発電原価LCOE再考：コスト構造と発電特性への洞察  
○前田 章 (東京大学), 石島 博 (中央大学)

9:00~10:40 セッションC3 <企画セッション>

会場：C (7C)

エリアエネルギーマネジメントシステム (SIPプロジェクト) (1)

- C3-1 既存建築物のエリアエネルギーマネジメントシステムの開発に関する研究  
その4 地域特性に応じた実効性の高いエリアエネルギーマネジメントの実装方策の提案  
○范 理揚 (日建設計総合研究所)
- C3-2 既存建築物の熱源システムの省CO<sub>2</sub>最適運転計画支援に関する研究  
- 動的CO<sub>2</sub>排出原単位指標と市場価格連動電気料金指標の比較分析 -  
○笠井 愛 (芝浦工業大学), 田中 翔大 (長崎科学総合大学),  
村上 公哉, 橘 雅哉, 斉藤 浩, 那須原 和彦 (芝浦工業大学)
- C3-3 既存建築物のエリアエネルギーマネジメントシステム (中小規模ビル用 EMS) の開発に関する研究  
(第3報) 開発EMSの実装と夏期・冬期の実証実験結果  
○時田 大輔, 草野 友里亜, 橘 雅哉, 斉藤 浩, 那須原 和良, 笠井 愛,  
村上 公哉 (芝浦工業大学), 長谷部 弥, 山本 ミゲイル (清水建設),  
中道 大介 (東京電力エナジーパートナー)
- C3-4 航空画像解析に基づく熱源設備採用状況推定と業務施設ストックのエネルギー需要推計への応用  
○西村 純, Thidathip Kounnavong, 山口 容平, Andrew Marian Zajch, 正野 景大, 内田 英明,  
下田 吉之 (大阪大学)

C3-5 公共施設におけるEV活用の可用性向上

- 小林 輝夫, 本多 宏行 (エナリス), 八木田 克英 (東京エネルギー研究所),  
岩船 由美子 (東京大学)

9:00~10:20 **セッションD3** <企画セッション> 会場:D (7D)

**e-メタン・バイオガスの社会実装を目指す都市ガス業界の取り組み  
ープロジェクト組成と国際標準ルール形成 (1)**

D3-1 カーボンニュートラルガス (e-methane/バイオメタン) の社会実装に向けた取り組み

- 坂上 貴士 (東京ガス)

D3-2 大阪ガスのカーボンニュートラルに向けた取り組み

~ e-methaneの技術開発, 商用プラントの実現に向けて~

- 小原 充裕, 永田 一真 (大阪ガス)

D3-3 2050年カーボンニュートラル実現に向けた東邦ガスグループの取り組み

- 浅井 崇志 (東邦ガス)

D3-4 地産地消モデルによるコスト低減を目指したメタネーション実証プロジェクト

- 江夏 量, 本田 彰秀, 長谷川 菜摘, 今西 颯 (西部ガス)

9:00~10:20 **セッションE3** 再エネ・アンケート 会場:E (6EF)

E3-1 障害要因分析に基づく省エネ広報の設計と効果検証 - AIを用いた探索調査と介入ABテスト -

- 平山 翔, 小林 翼 (住環境計画研究所)

E3-2 再生可能エネルギーサービスの選択行動における環境効果情報と認証の影響分析

- 西松 研 (千葉工業大学), 井上 明也 (松蔭大学)

E3-3 住民の地域新電力に対する意識とその規定要因

- 地域新電力による地域マネジメントの成立可能性 -

- 土屋 依子 (目白大学), 朝日 ちさと (東京都立大学)

E3-4 気候変動に関する世論の推移と現状

- 木村 宰 (電力中央研究所)

11:00~12:40 **セッションA4** 電化・需要側対策評価 会場:A (7A)

A4-1 情報技術を活用した世界の食品廃棄低減による温室効果ガス排出削減と経済影響:

国際産業連関表に基づく2050年までのシナリオ分析

- 林 礼美, 本間 隆嗣, 秋元 圭吾 (地球環境産業技術研究機構)

A4-2 カーボンニュートラルに向けた家庭部門の最適給湯技術選択:

機器乗り換え費用と世帯人数別需要を考慮した分析

- 横尾 学人 (横浜国立大学), 大槻 貴司 (早稲田大学)

A4-3 Exploring Mitigation Potentials: Model Complementarity Exercise of Low Energy Demand in Buildings

○CAO Tao (東京大学), MASTRUCCI Alessio, BOZA-KISS Benigna (IIASA),

杉山 昌広 (東京大学), VAN RUIJVEN Bas (IIASA)

A4-4 レアアース元素の製錬・資源循環および資源制約を考慮したエネルギー技術選択への影響分析

- 芝田 和弥 (横浜国立大学), 大槻 貴司 (早稲田大学)

A4-5 世界多地域多部門動的エネルギー経済統合評価モデルTHERESIA2.01によるエネルギー需要の電力

化がマクロ経済に及ぼす影響の定式化と評価

- 森 俊介 (東京理科大学)

11:00~12:40 **セッションB4** 蓄電池 会場:B (7B)

B4-1 運用最適化を用いた蓄電池容量検討手法の開発 その1 コスト最適化計算手法の開発

- 古賀 聖人, 環貫 陽 (竹中工務店)

B4-2 運用最適化を用いた蓄電池容量検討手法の開発

- 環貫 陽, 古賀 聖人 (竹中工務店)

B4-3 蓄電所導入による地域エリア間電力融通と再生可能エネルギー電力有効性評価

○酒井 慎, 秋元 祐太郎, 岡島 敬一 (筑波大学)

B4-4 エネルギー貯蔵技術導入の便益分析手法

○荻本 和彦, 岩船 由美子, 片岡 和人 (東京大学),  
東 仁, 磯永 彰, 瀬川 周平, 和地 恒久 (J-POWERビジネスサービス)

B4-5 なぜ長時間エネルギー貯蔵 (LDES) が不可欠なのか

－電力システム転換期における液化空気エネルギー貯蔵の可能性－

○秋元 慎介 (住友重機械工業), 荻本 和彦, 岩船 由美子 (東京大学)

11:00~12:40 **セッションC4** <企画セッション> 会場:C (7C)  
エリアエネルギーマネジメントシステム (SIPプロジェクト) (2)

C4-1 小地域を対象としたネット電力需要推定モデルの改良

○上野 剛, 安田 昇平, 岩松 俊哉 (電力中央研究所)

C4-2 地域脱炭素に向けた地域の電力需要特性に関する研究 (その4)

東京都多摩市における町丁字・大字単位のPV導入余地の試算

○岩松 俊哉, 上野 剛, 安田 昇平 (電力中央研究所)

C4-3 住宅ストック更新の地域差を考慮した基礎自治体二酸化炭素排出削減シナリオ分析

○橘 永悟, Andrew Marian Zajch, 矢延 陸, 山口 容平, 内田 英明, 下田 吉之 (大阪大学)

C4-4 GX技術の消費者受容に関するセグメンテーション分析

○八木田 克英 (東京エネルギー研究所), 王 楠, 志村 幸美, 安西 悠 (三菱UFJ銀行),  
岩船 由美子 (東京大学)

C4-5 時刻別CO<sub>2</sub>排出係数を用いた昼間沸き上げ型HP・蓄電池導入によるCO<sub>2</sub>排出削減量のポテンシャル評価

○安田 昇平, 上野 剛, 岩松 俊哉 (電力中央研究所), 岩船 由美子 (東京大学)

11:00~12:20 **セッションD4** <企画セッション> 会場:D (7D)  
e-メタン・バイオガスの社会実装を目指す都市ガス業界の取組み  
プロジェクト組成と国際標準ルール形成 (2)

D4-1 カーボンリサイクル燃料に対する主要なGHGアカウンティングルールの動向と対応

○上田 智一, 植草 伸幸, 工月 良太, 杉野 彰紀, 辻 優輝, 岡 佑太郎 (日本ガス協会)

D4-2 GHGプロトコル改定におけるカーボンリサイクル燃料及び証書の扱いとクリーンガス証書の取組み

○辻 優輝, 植草 伸幸, 上田 智一, 工月 良太, 杉野 彰紀 (日本ガス協会)

D4-3 海外生産されるe-メタン・バイオガスの環境価値のトレーサビリティ管理の取り組み

○杉野 彰紀, 植草 伸幸, 上田 智一 (日本ガス協会)

D4-4 アジア太平洋地域の再生可能ガス証書制度の調査－

政府のGHG報告制度におけるSCOPE1報告への活用など

○岡 佑太郎, 上田 智一, 熊井 裕二, 工月 良太 (日本ガス協会)

12:40~14:10 **学生ポスターセッション** <若手の会 第1部> 会場:E (6EF)

EP-1 日本国内におけるERW制度設計に向けたCDRクレジットのMRV要件検討

－海外ERW方法論調査とバイオ炭制度文書比較を通じて－

○松谷 和真, 野津 喬, 中垣 隆雄 (早稲田大学)

EP-2 塩分濃度差発電に対するLCOE算出手法の比較分析と感度評価

○渡邊 琴弓, 鳥 弘幸 (山梨大学)

EP-3 系統電力使用量の時系列推移に着目した家庭向けデマンドレスポンスの影響分析

○上山 滉介, 浦田 淳司 (筑波大学)

EP-4 住宅用太陽光発電の導入意欲におけるピア効果の役割

－可視性と会話の相互作用に着目した定性的分析と自治体政策への示唆－

○平田 一真 (芝浦工業大学)

- EP-5 日本のエネルギーシステムモデルとライフサイクルアセスメントを融合した環境影響の将来分析  
 ○濱口 隆太 (早稲田大学), 加藤 悦史, 黒沢 厚志 (エネルギー総合工学研究所),  
 伊坪 徳宏 (早稲田大学)
- EP-6 一次化学品の原料代替シナリオの定量化に向けた電力・水素・炭素システムモデルの開発  
 ○久田 幸輝, 白木 裕斗 (名古屋大学)
- EP-7 家庭の省エネ行動における意識から行動への多層因果メカニズム分析  
 ○池田 昌弘, 龍 吟, 吉田 好邦 (東京大学)
- EP-8 気候変動に伴う日本の寒冷地域における冷房対策の再検討  
 ○尾崎 愛音, 龍 吟, 吉田 好邦 (東京大学)
- EP-9 Land use and policy implications of ground-mounted solar photovoltaic deployment in the Philippines  
 ○BENIGA Kristelle Canas, 白木 裕斗 (名古屋大学), SILVA HERRAN Diego (国立環境研究所)

**14:10~16:10 セッションA5 DR・分散電源 会場：A (7A)**

- A5-1 分散型電源と蓄電池による地域のエネルギー需給システム  
 ○鬼塚 大輝, 佐藤 聖史, 吉川 達馬, 吉田 好邦 (東京大学)
- A5-2 人口減少地域における蓄電池配送型電力供給システムの経済性評価  
 ○遠藤 勇人, 磐田 朋子, 吉岡 剛 (芝浦工業大学)
- A5-3 建物屋根における太陽光発電形態の類型化  
 ○廣瀬 梨乃, 尾羽 秀晃, 森本 壮一, 柴田 善朗 (日本エネルギー経済研究所),  
 大槻 貴司 (早稲田大学)
- A5-4 米国のヒートポンプ給湯機補助における中流プログラムの定義・利点・課題  
 ○山田 愛花, 中野 一慶 (電力中央研究所)
- A5-5 本州地域における住宅群に設置されたハイブリッド給湯機を用いたDemand Responseの冬期実証  
 ○山田 武史 (リンナイ), 小林 輝夫, 不破 茂秀 (エナリス)
- A5-6 データセンターの電力利用とDR対応の動向調査  
 ○山田 智之, 坂東 茂, 馬橋 義美津 (電力中央研究所)

**14:10~16:10 セッションB5 需要推計・類型化・遮断断熱 会場：B (7B)**

- B5-1 Variable Degree Days法による地域・国レベルの冷房需要推計の精度検証  
 ○堀川 雄平, 下田 吉之, 迫 晴気, 五味 勇心 (大阪大学)
- B5-2 Estimating Building Power Demand Using Mobile Phone Location Data :  
 A Case Study at Nagoya University-  
 ○鄭 翔宇, SHIRAKI Hiroto (名古屋大学), HATANO Ryosuke, FUJITA Miwako,  
 SHIRAISHI Tsukasa (中部電力), HAYASHI Kiichiro (名古屋大学)
- B5-3 ホームエネルギーマネジメントシステムの導入に向けた生活者の行動データに基づく電力需要の推定  
 ○曹 子琦, 前 匡鴻, 松橋 隆治 (東京大学)
- B5-4 給湯・暖房設備の稼働パターン分析による居住者の生活傾向抽出  
 ○五百蔵 果音, 内田 英明, 下田 吉之, 山口 容平 (大阪大学)
- B5-5 Does Climate Adaptation Increase Electricity Consumption?  
 ○今村 勇哉 (京都大学), 本田 智則 (産業技術総合研究所), 竹内 憲司 (京都大学)
- B5-6 酷暑対策として屋根・壁に導入が進む各種遮熱対策の夏季と冬季を通じた有用性に関する研究  
 (その2: 春季・中間期)  
 ○村橋 喜満 (かずさ環境研究所), 西田 裕幸 (西田技巧), 堀部 哲士 (桂アイディール)

**14:10~16:10 セッションC5 機械学習・システム制御・最適化 会場：C (7C)**

- C5-1 寒冷地における都市ガス需要予測モデルの高度化と説明変数の寄与度分析  
 ○浦崎 貫一郎, 鈴木 研悟 (筑波大学), 横川 誠, 長川 大介, 松本 周士 (北海道ガス)

- C5-2 説明可能な深層強化学習を用いた住宅用PV-BT-SOFCハイブリッドシステムの協調制御  
○大黒 響己, 内田 英明, 山口 容平, 下田 吉之 (大阪大学)
- C5-3 住宅地マイクログリッド (MG) における各機器の自律分散制御に基づくMG 全体の需給調整力の継続的維持  
○片多 亨太, 加藤 丈佳 (名古屋大学), 中川 雅也, 中谷 柊斗, 藤田 悠, 小林 浩 (トーエネック)
- C5-4 Model Predictive Control-Based Suppression of Battery SoC Fluctuations in Home Energy Management System  
○QU LIWEN (東京大学), Toshiyuki Fujita (芝浦工業大学), Hiroshi Fujimoto (東京大学), Yoshiaki Yasuda, Akio Yamagiwa (日本エネルギー経済研究所)
- C5-5 混合整数二次計画モデルに基づくPower-to-Gasプラントとマイクログリッドの多目的協調設計 (多目的協調設計のためのサロゲートモデル生成)  
○石井 秀之介, 馬場 夏希, 涌井 徹也 (大阪公立大学)
- C5-6 電力とガスの市場連動小売契約におけるガス使用量制約を考慮した工場動力設備運用の技術経済性分析  
○前 匡鴻 (東京大学), 八木 賢治郎 (Fling Duck)

14:10~16:10 **セッションD5** 電力システム評価 (2)・イノベーション 会場：D (7D)

- D5-1 脱炭素社会へのシナリオ構築における生成AIの活用：社会の姿をナラティブで表現する  
○中野 祐樹 (横浜国立大学), 小澤 暁人 (産業技術総合研究所), 本藤 祐樹 (横浜国立大学)
- D5-2 Open-Source LLMのコスト最適化推論第二報：  
圧縮技術と推論モードによる生成品質とエネルギー消費のトレードオフ評価  
○呉 晨曦, 納富 信 (早稲田大学)
- D5-3 日本のエネルギー・ディープレック・スタートアップに関するデータ基盤構築：現状と課題  
○岩田 紘宜, 関 大吉, 東出 紀之, 宮崎 雄, 広瀬 大地 (慶應義塾大学), 杉山 昌広 (東京大学), 武田 秀太郎 (慶應義塾大学)
- D5-4 実務的な運用制約における電力インバランス量の確率的予測  
○郭 嘉軒, 前 匡鴻, 松橋 隆治 (東京大学)
- D5-5 支配的事業者と多数の小規模事業者を考慮した電力市場モデルの構築と価格影響分析  
○後藤 寛貴, 森田 浩 (大阪大学)
- D5-6 エージェントベースモデルによる日本卸電力市場でのネガティブプライス導入効果の分析  
○前田 瑤一郎, 磐田 朋子, 吉岡 剛 (芝浦工業大学)

14:10~15:30 **グループディスカッション** <若手の会 第2部> 会場：E (6EF)

若手研究者による講演・グループディスカッション

1. 「博士進学のおすすめ (仮題)」 (一般財団法人電力中央研究所 東谷 拓弥 氏)
2. グループディスカッションテーマ 「エネルギー・資源学会の若手が今後の社会で担うべき役割」